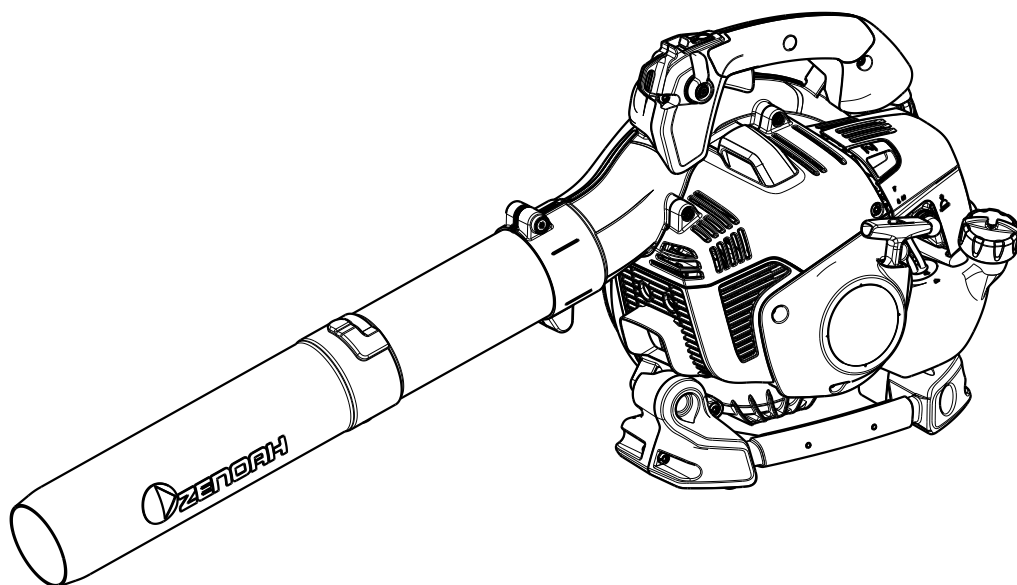


ゼンアブロウ 取扱説明書

HBZ260LV



※この製品を使用できるのは日本国内のみで、国外では使用できません。

* This product is designed for domestic use in Japan only and cannot be used in any country.

警告



- この取扱説明書には製品をご使用いただく上で、事故を防ぐ重要な注意事項と製品の取扱い方が示されています。この取扱説明書を良く理解した上、製品を安全にお使いください。お読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保管してください。
- 電気関係部品は安全のため注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

マークの説明

シンボルマーク

警告! 本機は危険を伴う道具です。不注意な使用や不適切な使用によって、使用者やその他の人々が重傷や致命傷を負う危険性があります。

本機をご使用になる前に、この取扱説明書を注意深くお読みいただき、内容を必ずご確認ください。

常に下記のものを着用してください。

- ・ 防音マフラー
- ・ 承認された保護メガネ
- ・ 粉塵の恐れがある場合は呼吸マスクを使用してください。

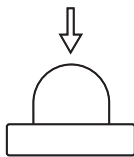
必要に応じて、手袋を着用してください。

ブロワーで飛ばしたものが跳ね返ってくる場合があります。そのため推奨されている安全装置を使用していない場合、目に重傷を負うことがあります。

ブロワーの作業者は、作業中に人や動物が15メートル以内に近づかないように注意する必要があります。

作業場所内で複数の作業者がいる場合は、安全のために、最低15メートルの距離を取ってください。

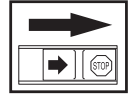
エアパージ



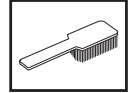
本機に付いている他のシンボル／銘板はそれぞれの市場地域に向けた特別な認定条件を示します。

ストップスイッチを停止位置に入れると、エンジンが停止します。

注意! ストップスイッチが、自動的に始動位置に戻ります。組み立て、点検、メンテナンスを行うときは、意図しない始動を防止するため、スパークプラグキャップをスパークプラグから外します。



定期的な清掃が必要です。



目視点検



給油



「開位置」でのチョークレバー



「閉位置」でのチョークレバー



はじめに

お客様へ

このたびはゼノア製品をお買い上げいただき誠にありがとうございました。

この取扱説明書は、製品の正しい取扱い方法、簡単な点検および手入れについて説明しています。

ご使用前によくお読みいただいて十分理解され、お買い上げの製品が優れた性能を発揮し、かつ快適な作業をするためにこの冊子をご活用ください。

また、お読みになった後必ず大切に保管し、分からないことがあった時には取り出してお読みください。なお、製品の仕様変更などにより、お買い上げの製品とこの説明書の内容が一致しない場合がありますので、あらかじめご了承ください。



安全第一

本書に記載した注意事項や機械に貼られた  の表示がある警告ラベルは、人身事故の危険が考えられる重要な項目です。よく読んで必ず守ってください。

なお、警告ラベルが汚損したり、はがれた場合はお買い上げの販売店に注文し、必ず所定の位置に貼ってください。

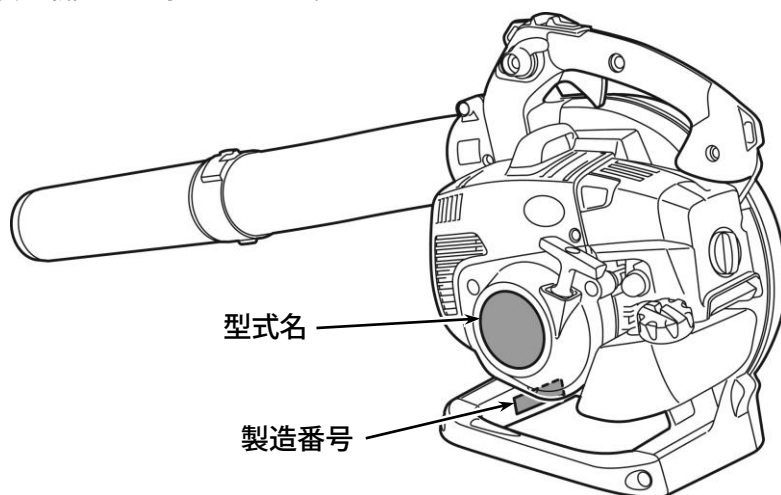
サービスと保証について

ご相談窓口

本製品に関するお問い合わせや消耗品のお求め、サービスのご用命は、お買い上げいただいた販売店で承ります。

お問い合わせの際は型式名と製造番号（下図参照）をご連絡ください。

製品・技術・その他に関してお気づきの点やご意見等ありましたらお気軽に弊社営業窓口（裏表紙記載）にお寄せください。



保証書について

本製品には、保証書を別途添付しております。保証書は、必ず「販売店名・お買い上げ日・型式名・製造番号」の記入押印をお確かめのうえ販売店から受け取っていただき内容をよくお読みのと大切に保管してください。

補給部品の供給年限について

本製品の補修部品の供給年限は、製造打切後8年です。

ただし、供給年限内であっても特殊部品につきましては、納期等についてご相談させていただく場合もあります。

補修用部品の供給は、原則的には、上記の供給年限で終了いたしますが、供給年限経過後であっても部品供給のご要請があった場合には、納期および価格についてご相談させていただきます。



警告

機械の改造は危険ですので、改造しないでください。
改造した場合や取扱説明書に述べられた正しい使用目的と異なる場合は、メーカー保証の対象外になるのでご注意ください。

目次

目次

マークの説明

シンボルマーク 1

はじめに

お客様へ 2

サービスと保証について

ご相談窓口 3

保証書について 3

補給部品の供給年限について 3

目次

目次 4

始動時には以下の注意点を守ってください 4

各部名称

ブロワーの各部名称 5

安全な使用について

全般 6

安全注意事項

使用者の身体保護具 8

製品の安全装置 8

組み立て

ブローパイプ 10

燃料の取り扱い

燃料 12

給油 13

始動と停止

始動と停止 14

作業技術

一般的な作業方法 16

メンテナンス

キャブレター 18

マフラー 18

冷却システム 18

スパークプラグ 18

フィルター 19

メンテナンススケジュール 20

主要諸元

主要諸元 21

始動時には以下の注意点を守ってください:

操作説明書に注意深く目を通してください。



警告! 長時間騒音にさらされることは、恒久的な聴覚障害の原因になることがあります。本機を使用する際は、イヤマフを必ず着用してください。



警告! いかなる理由であれ、製造者の承認を得ることなく本機の改造を加えないでください。常に純正の部品をお使いください。不認可の改造や付属品は、使用者やその他の人の重傷や致命傷の原因となることがあります。

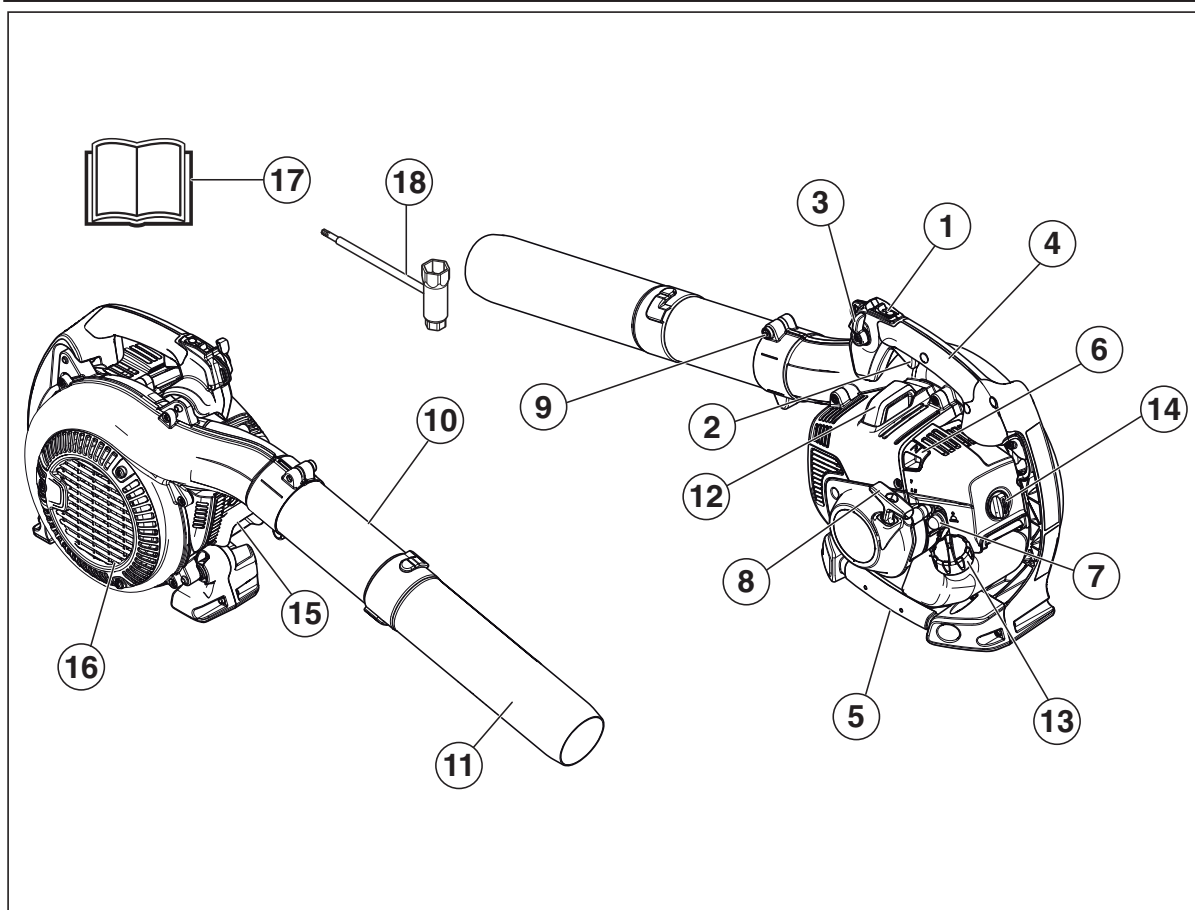


警告! 不注意な取り扱いや誤った取り扱いをすると、ブロワーは危険な道具となり、重傷や時には致命傷の原因となります。この取扱説明書をよくお読みになり、内容を理解することが非常に重要です。

ハスクバーナ・ゼノア社は継続的に製品の開発を行っています。そのため、設計や外見などが予告なく変更されることがあります。

ブロワーは芝生、歩道、アスファルト舗装道路などに送風する目的でのみ設計されています。

各部名称



ブロワーの各部名称

- | | |
|---------------------|-----------------|
| 1 ストップスイッチ | 11 円形ノズル |
| 2 スロットルコントロール | 12 スパークプラグ |
| 3 スロットル設定コントロール | 13 燃料カップ |
| 4 コントロールハンドル／操作ハンドル | 14 エアフィルター |
| 5 ハンドル | 15 マフラー |
| 6 チョークコントロール | 16 エアインテークスクリーン |
| 7 プライマバルブ | 17 取扱説明書 |
| 8 スターターハンドル | 18 コンビレンチ |
| 9 チューブクランプネジ | |
| 10 中間パイプ | |

安全な使用について

全般



警告! 循環器系の弱い人が長時間振動を受け続けると、循環器障害や神経障害を起こすことがあります。長時間振動を受け続けたために症状が現れた場合は、医師の診断を受けてください。症状にはしびれ、感覚麻痺、ビリビリ感、刺痛、痛み、脱力感、皮膚の色や状態の変化などがあります。これらの症状は通常、指や手、手首に現れます。この症状は低温の環境下でよく起こります。白ろう病発症のリスクを低減するために、次の注意事項を守ることを強く推奨します。

厚手の防振手袋を着用すること。

頻繁に暖かい場所で5分以上の休憩を取ること。

ハンドルは常にしっかりと握ること。ただし、持続的に過度の圧力をかけて握ることは避けること。

指や、体の他の部分に違和感や赤み、腫れがある場合には、悪化する前に医師の診察を受けてください。

重要事項!

ブロワーは芝生、歩道、アスファルト舗装道路などに送風する目的でのみ設計されています。

使用前に本機全体の点検を実施してください。メンテナンススケジュールに目を通してください。

疲労時や飲酒後、視野・判断力・動作に影響を及ぼすような医薬品を服用している場合は、絶対に本機を使用しないでください。

身体保護具を着用してください。「使用者の身体保護具」の項の説明を参照してください。

何らかの改造を受け、出荷時の仕様とは異なっている機器は、絶対に使用しないでください。

本機に欠陥が認められた場合は絶対に使用しないでください。この取扱説明書の内容に従って、安全点検、メンテナンス、サービスを行ってください。メンテナンスやサービスの内容によっては、専門家でなければならないものもあります。詳細は、「メンテナンス」を参照してください。

始動する前に、すべてのカバーやガードを取り付ける必要があります。感電の危険を回避するために、スパークプラグキャップやイグニッションリードが損傷していないことを確認してください。

ブロワーの作業者は、作業中に人や動物が15メートル以内に近づかないように注意する必要があります。作業場所内で複数の作業者がいる場合は、安全のために、最低15メートルの距離を取ってください。

子供に本機を操作させないでください。

本取扱説明書の内容を読んで、理解していない人には決して本機の使用を許可しないでください。

作業開始前に必ずエアインテークスクリーンを遮るものがないことを確認してください。

地域の行政機関に相談して法令への準拠を守ってください。

体のあらゆる部分を、高温の表面から遠ざけるようにしてください。運転中に金属製の部品やエンジンカバーが高温になり、重症のやけどを引き起こす場合があります。

エンジンの動作中には、決してエアインテークスクリーンからごみを取り除かないでください。回転しているブロワーのファンに接触すると、重大な人的障害を招く可能性があります。

安全な使用について

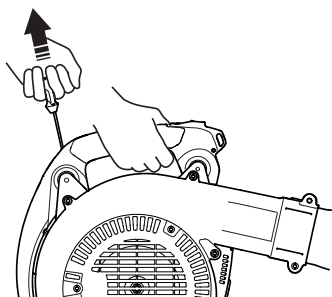


警告! 本機は、運転中に電磁場を生成します。この電磁場は、場合によっては能動的な医療用インプラントに影響を及ぼすことがあります。深刻なまたは致命傷の危険を避けるため、医療用インプラントを使用している人が本機を操作する前に、主治医およびペースメーカーの製造元に相談することをお奨めします。

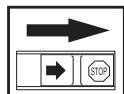
始動

- 本機を室内で始動しないでください。排気ガスを吸入すると危険です。
- 周囲を良く見回り、人や動物がブローアに接触することがないことを確認してください。

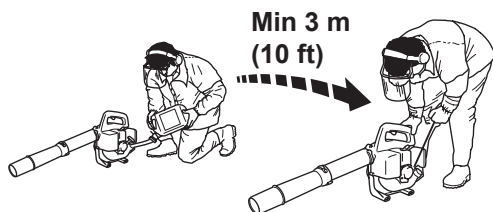
地面に本機を置き、右手で本機本体を地面に固定します(注意! 足で固定しないこと。) スターターハンドルを左手で掴み、素早くしっかりと引きます。



燃料の安全について



- 必ず流出防止バルブの付いている燃料容器をご使用ください。
- エンジンの運転中は絶対に給油をしてはいけません。給油をする前には、必ずエンジンを止めて数分間温度が下がるのを待ってください。
- 燃料の補給や混合ガ (ソリンと2サイクルオイル) を行うときは、十分に換気してください。
- 肌に燃料が一切触れないようにしてください。燃料は皮膚刺激剤で、皮膚に影響を与える場合もあります。
- 給油後は、給油した場所から少なくとも3m離れたところで始動してください。



- 下記の条件では、決して本機を始動しないでください。

- 本機に燃料がこぼれた場合。きれいに拭き取り、表面に残った燃料が蒸発するのを待ちます。
- 皮膚や衣服に燃料がかかったときは着替えます。皮膚についた燃料を洗い流してください。石鹸と水を使用します。
- 燃料が漏れている場合。燃料キャップと燃料ホースの漏れを定期的に点検してください。

搬送と保管

- 本機と燃料は、電気機器、電気モーター、リレー／スイッチ、ボイラーなど、火花や裸火を発するものから離して保管・運搬し、液体漏れやガスによる火災発生の危険性をなくしてください。
- 燃料の保管や搬送を行う場合は、必ず認可された専用容器を使用してください。
- 本機を長期間保管するときは、必ず燃料タンクを空にしてください。余剰燃料の廃棄場所は最寄りのガソリ
- スタンドにご相談ください。燃料タンクが完全に空になるまでプライマバルブを押し続けます。スパークプラグを取り出して、シリンダーにスプーン1杯の2サイクルオイルを垂らします。エンジンを複数回ひっくり返し、スパークプラグを元の位置に戻します。
- 長期間保管する際は、必ず事前に本機をクリーニングし入念なサービスを行ってください。
- 搬送の間、機器をしっかりと固定してください。
- 本機を塵やほこり、湿気がなく、涼しくて換気の良い場所に保管してください。本機は子供の手の届かない場所に保管してください。



警告! 燃料の取り扱いには十分注意してください。火災や爆発、有毒ガスの吸引などの危険にご注意ください。

安全注意事項

使用者の身体保護具



警告! 本機を使用するときは、認可のある身体防護具を必ず着用してください。身体防護具で負傷の危険性を排除できるわけではありませんが、万が一事故が起こった場合、負傷の度合いを軽減することができます。身体保護具の選択については、本機の販売店にご相談ください。本機をご使用になる前に、この取扱説明書を注意深くお読みいただき、内容を必ずご確認ください。

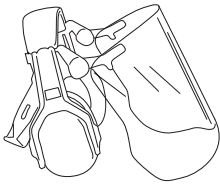


警告! イヤマフを着用している間、警告信号や叫び声に気を付けてください。エンジンが停止したら、速やかにイヤマフを外してください。

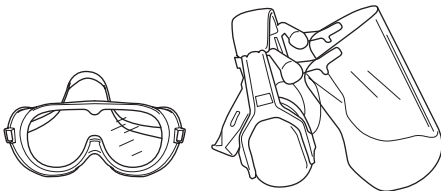
- 必要に応じて、手袋を着用してください。



- 騒音を十分に軽減するイヤマフを着用してください。



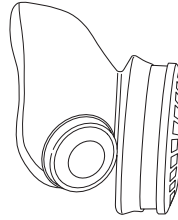
- 防塵メガネ（ゴーグル）を着用してください。吹き飛ばされた枝や物体が飛び散り、目に損傷を与えるおそれがあります。



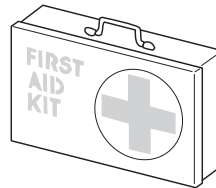
- 丈夫で滑りにくいブーツを着用してください。



- 厚手の長ズボン、ブーツ、手袋、および長袖シャツを常に着用してください。回転部に物が巻き込まれることによる負傷の危険性を低減するために、ゆったりした衣服、スカーフ、宝飾品などは身に着けないでください。髪の毛は肩より上になるように留めてください。
- 粉塵の恐れがある場合は呼吸マスクを使用してください。



- 常に救急箱を身近に備えてください。



製品の安全装置

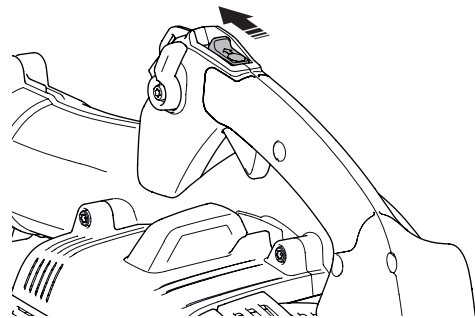
この項では、本機の安全装置とその目的、本機の正しい動作を確保するための検査とメンテナンスの方法について説明します。安全装置の配置については「各部名称」を参照してください。



警告! 安全装置に欠陥のある製品は決して使用しないでください。このセクションの説明にしたがって点検、メンテナンス、およびサービスを定期的に行ってください。

停止スイッチ

停止スイッチはエンジンを切るときに使用します。

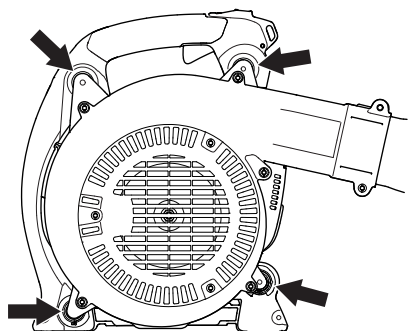


点検およびメンテナンスを行うときは、イグニッションケーブルとスパークプラグを外してください。

安全注意事項

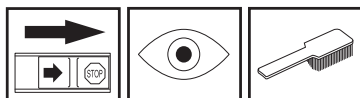
振動ダンパー

本機には防振装置がついており、振動を軽減し、操作しやすいになっています。

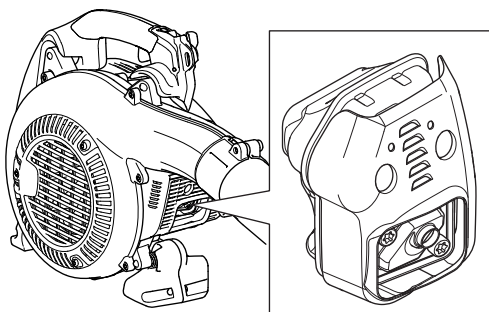


警告！ 循環器系の弱い人が長時間振動を受け続けると、循環器障害や神経障害を起こすことがあります。長時間振動を受け続けたために症状が現れた場合は、医師の診断を受けてください。症状にはしびれ、感覚麻痺、ピリピリ感、刺痛、痛み、脱力感、皮膚の色や状態の変化などがあります。これらの症状は通常、指や手、手首に現れます。気温が低い場合、この危険性が高くなります。

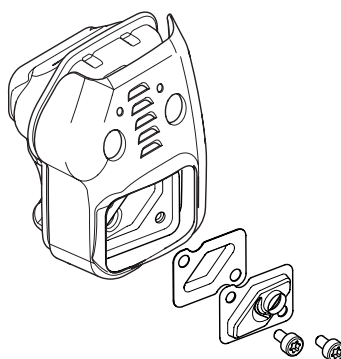
マフラー



マフラーは騒音のレベルを最小限に抑え、排気ガスを使用者から遠ざける働きをします。

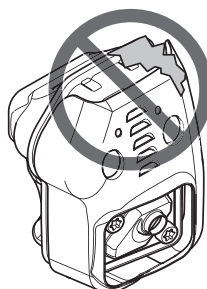


気候が温暖で乾燥する国では、火災の危険が高くなります。そのため、当社では一部のマフラーにスパーク防止ネットを装備しています。製品のマフラーにスパーク防止ネットが装備されているかを確認してください。

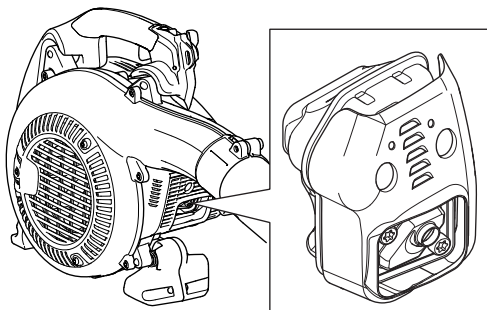


マフラーに関しては、点検、メンテナンス、およびサービスの指示に従うことが非常に重要です。

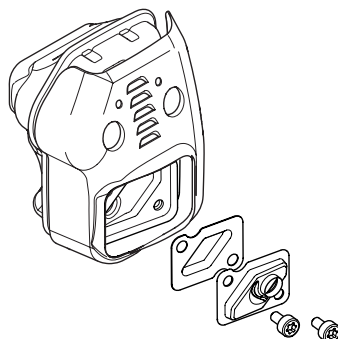
欠陥のあるマフラーを装着した本機は決して使用しないでください。



マフラーが本機にしっかりと固定されているかどうか、定期的に点検してください。



スパーク防止ネット付のマフラーを搭載している製品の場合、マフラーの定期的な掃除が必須です。ネットが詰まっているとエンジンがオーバーヒートを起こし、深刻な損傷につながる可能性があります。



安全注意事項

注意!

スパーク防止ネットが正しくネジ止めされていることを確認してください。



警告! 使用中の触媒コンバータ付きマフラーは非常に高温になり、使用後もしばらくの間、高温が続きます。アイドリングにおいても高温となります。触るとやけどすることがあります。火災の危険も忘れないでください。



警告! マフラーには発ガン性がありうる化学物質が使われています。万が一マフラーが損傷した場合、これらの物質に触れないようにしてください。

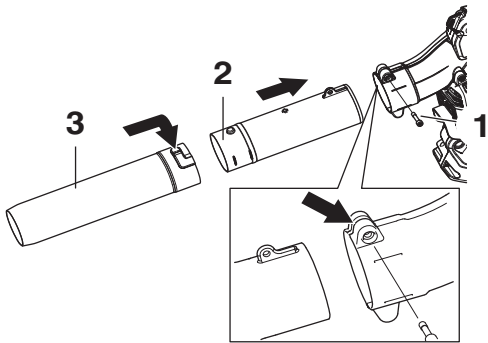
エアフィルター

エアフィルターが取り付けられていないとき、またはフィルターエレメントに損傷や変形があるときには、リーフブロワーを決して使用しないでください。空気に含まれた粉塵により、エンジンがすぐに壊れる場合があります。

ブローパイプ

ブローチューブは、スロットにはめ込むことでユニットに固定します。

- ブローチューブを取り付けるとき、または取り外すときは、チューブクランプネジを外す必要があります。
- ブローの排気口にあるスロットと中間チューブ上の凸状のリブを合わせて、チューブの穴とハウジングの位置が一致するまでチューブを挿入します。
- チューブクランプボルトを再び挿入して、締め込みます。

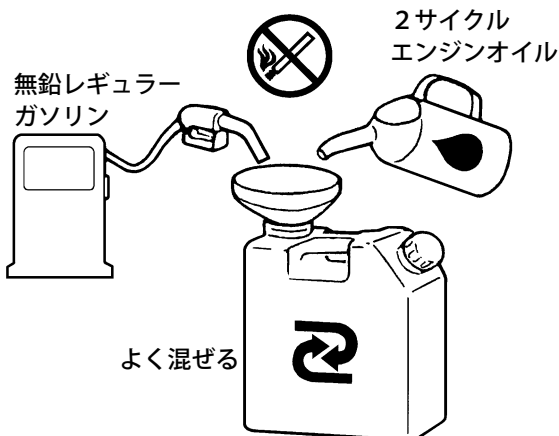


- 1 チューブクランプネジ
- 2 中間チューブ
- 3 円形ノズル

燃料の取り扱い

燃料

 危険	● 燃料は非常に引火しやすいため取扱いを誤ると火災事故の原因となります。また、気化した燃料は爆発して死傷事故を起こす恐れがあります。 ● 燃料の混合時は必ず火気を遠ざけ、タバコは吸わないでください。 ● 混合作業は屋外で行ってください。 ● 機体や燃料容器を、たき火やバーナーなどの火気の近くに放置しないでください。
 警告	● 燃料タンクキャップを開ける前に製品および補給用タンクを地面に置くなどして、帯電している静電気を除去してください。 ● 燃料補給時に金属製の漏斗を使用しないでください。静電気が燃料に放電して火災の原因となります。 ● 燃料タンクキャップを開けるときはゆっくりと開けて、タンク内の圧力を逃がしてください。 ● 燃料パイプ、燃料グロメット、燃料タンク周辺から漏れやにじみがある場合は、直ちに使用をやめ、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。 ● 補給用燃料は、火気のない日陰に置いてください。 ● 余った燃料は、金属製のガソリン携行缶で保管してください。 ● 燃料を運搬する際は、金属製のガソリン携行缶を使用してください。
重要	● オイルが混合されていないガソリン（生ガソリン）を使うとエンジンが焼き付きます。給油時は燃料が正しいか確かめてください。 ● 燃料は紫外線や高温に長時間さらされると変質劣化し、始動不良や出力不足などの原因になります。混合した燃料は、30日以内を目安に使い切るようにしてください。 ● 水が混入した燃料を使うと、キャブレタやエンジンの内部が腐食します。機体や燃料容器に水がかからないようにしてください。 ● 4サイクルエンジン用オイルは使わないでください。スパークプラグ汚損やピストン固着、マフラ詰まりなどを起こしやすくなります。 ● エンジン不調の原因となりますので指定外のオイルや混合比で使用しないでください。



燃料は、自動車用無鉛ガソリンと空冷2サイクルエンジン用オイルを下記割合で混合容器に入れ、容器を振ってよく混ぜ合わせたものを使用してください。

〔混合比〕

□ゼノア純正2サイクルオイル（FD級）使用時

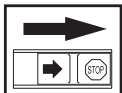
..... **50 : 1**

（ガソリン1Lに対しオイル20mL）

もしくは、JASO性能分類FD級のオイルを50 : 1の比率でよく混合してください。

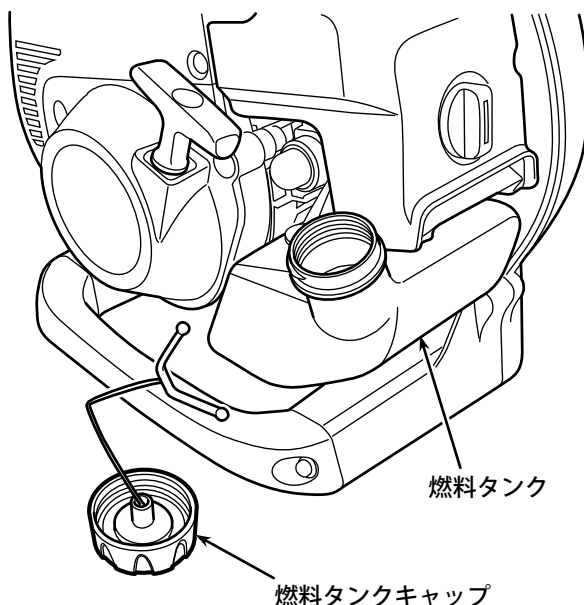
燃料の取り扱い

給油



 危険	● 燃料タンクへの給油は屋外の平坦な場所で行ってください。 給油時は火気を遠ざけタバコは消してください。 ● 作業の途中で給油する場合は、必ずエンジンを停止し、冷えてから行ってください。 ● 燃料タンクキャップは確実に締め付けてください。 ● 給油時にこぼれた燃料はエンジンを始動する前に布でよくふき取ってください。
--	--

重要	燃料タンクへの給油量は、8分目を目安にしてください。燃料を入れ過ぎると、運転時に燃料タンクキャップから燃料が漏れる恐れがあります。
----	---



1. 給油する機械を屋外の平坦な場所に置き、安定させてください。
2. 燃料タンクのキャップを少しゆるめ、燃料タンク内と外部の気圧差を取り除いてください。
3. 燃料タンクのキャップを取り外し、8分目を目安に少しずつ給油してください。
4. 給油が終わったら燃料タンクのキャップを確実に締め付けて、燃料漏れのないことを確認してください。

— ゼノア純正 ビッグバンガソリン —

ゼノア純正混合ガソリン「ビッグバンガソリン」は、運転休止期間の長いエンジン機器用に開発された2サイクルエンジン専用の混合燃料です。

- ◎変質しにくい特殊ガソリンの採用でキャブ詰まり追放
- ◎エンジン内部を摩耗や汚れから守り、排気をきれいにする各種添加剤配合
- ◎混合の手間不要
- ◎給油・持ち運び・保管に便利な金属容器入り

などのすぐれた特長を持っており、運転休止の直前にお使いになるだけで運転再開時のエンジントラブル予防効果を発揮します。

詳しくはお買い上げ店にお問い合わせください。

始動と停止

始動と停止



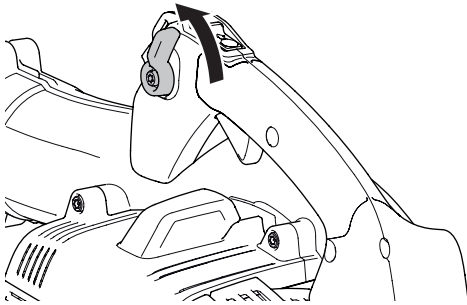
警告! 本機を始動する前に、クラッチカバーとシャフトが完全に固定されていることを確認してください。固定されていないと、クラッチが緩み人的傷害につながる可能性があります。

本機を始動する際は、必ず給油場所から移動してください。

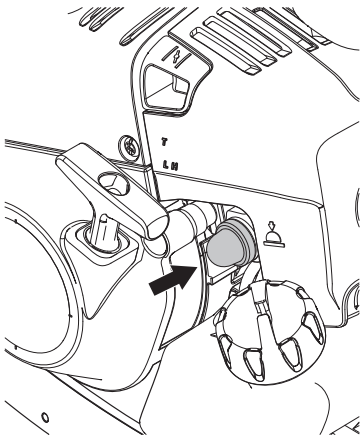
作業エリアに許可なく人が立ち入らないようにしてください。重傷事故の恐れがあります。安全距離は15メートルです。

始動

スロットルの位置: スロットルをアイドルリングの位置に合わせます。

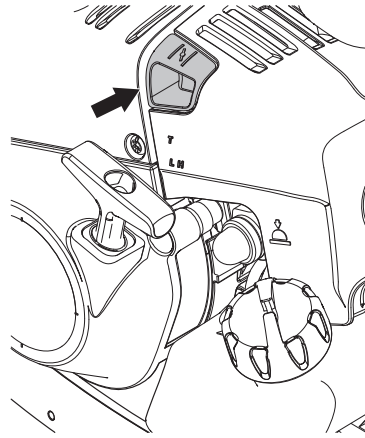


エアパージ: 燃料がバルブに注入され始めるまでエアパージを繰り返し押します。バルブが完全にいっぱいになるまでは注入する必要ありません。



冷機エンジン

チョーク: チョークコントロールをチョーク位置に引きます。



右手で本機を地面に固定します(注意! 足で固定しないこと)。左手でスターターハンドルを握り、抵抗を感じる(歯止めにかかる)までゆっくりとスターターロープを引き出します。次に素早く、強くロープを引っ張ります。**スターターロープは絶対に手に巻き付けないでください。**

エンジンが始動するまでロープを繰り返し引きます(最大5回)。

チョークコントロールを始動位置まで引き下げます。

エンジンが始動するまでロープを引っ張り、スロットルトリガーをゆっくりと作動させ、エンジン速度と運転速度を上げていきます。

暖機エンジン

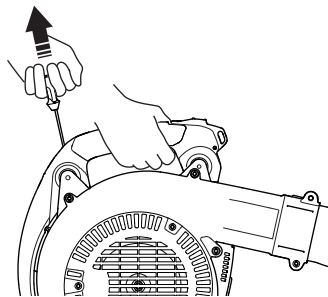
始動方法は冷機エンジンとほぼ同様ですが、チョークコントロールをチョークの位置に入れません。数回試してもエンジンが始動しない場合は、チョークを閉じてロープを繰り返し引きます。

注意!

エンジンが始動するとすぐに空気が放出されます。アイドルリングの場合でも同様です。

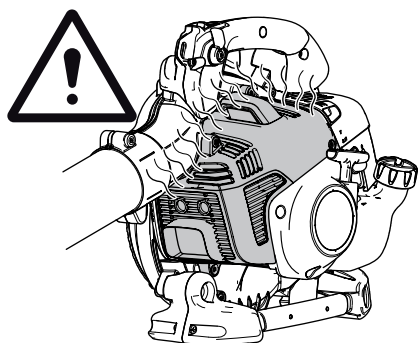
数回試したあとオーバーチョークになりエンジンが始動しない場合は、チョークを開いてロープを繰り返し引きます。

注意! スターターロープをいっばいに引き出したところから、スターターハンドルを急に放さないでください。製品に損傷を与える恐れがあります。



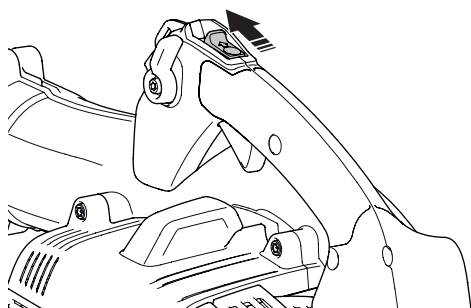
始動と停止

注意! マークされた部分には体のどの部分も触れないようにしてください。スパークプラグキャップが破損していると、触れたときにやけどをしたり、感電することがあります。必ず手袋を着用してください。スパークプラグキャップが破損している状態で本機を使用しないでください。



停止

スロットルトリガーをアイドリング位置に動かして、エンジンが完全に停止するまでストップスイッチを押します。



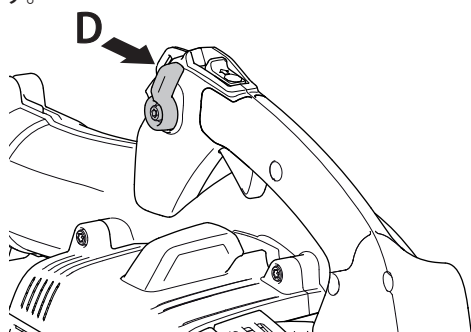
注意! ストップスイッチが、自動的に始動位置に戻ります。組み立て、点検、メンテナンスを行うときは、意図しない始動を防止するため、スパークプラグキャップをスパークプラグから外します。

一般的な作業方法

重要事項! この項は、ブロワー使用時の基本的な安全規則について記載します。どうしても分からない状況になった場合は、専門家に問い合わせてください。販売店またはサービスワークショップに連絡してください。技能的に難しいと思える操作は行わないでください。

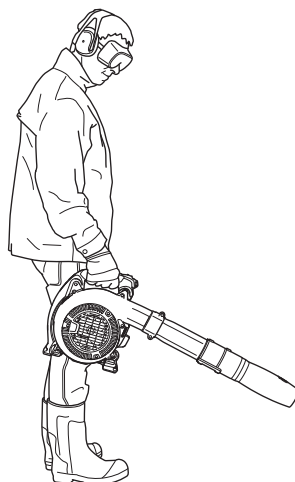
ブロワーの使用にあたっては、周囲の迷惑を考え、深夜や早朝など不適切な時間帯の使用は避けてください。同時に使用する装置の数を制限することによって、騒音レベルを抑えてください。できるだけ周囲の迷惑にならないように、以下の簡単な指示を読み、従ってください。

- このブロワーはハンドヘルドタイプです。手でハンドルを持って保持します。運転中はハンドルによって操作および制御します。風速はスロットルで制御します。用途に最も適した速度を選択してください。ブロワーの使用、常に指でスロットルを握っておかないようにするため、必要なスロットルはスロットルアジャスタ (D) に設定できます。スロットルアジャスタを完全に押し込むとフルスロットルになります。



- ブロワーはできるだけ最低のスロットルで使用します。フルスロットルが必要になることはめったにありません。ほとんどの作業は半分のスロットルで処理できます。低スロットルの場合、騒音と粉塵も少なく、また集めたごみの扱いが簡単になります。
- 熊手かほうきを使い、集めたごみを片付けます。

- ブロワーの開口部を地面にできるだけ近づけます。ブローパイプの長さを活かして空気流が地面に近くなるようにします。



- 最後に片づけをします。よその庭にごみを吹き入れなかったか確認してください。
- 本機は通常の労働時間帯に使用して、不必要な騒音を出さないようにします。朝早くまたは夜遅くの作業は避けてください。



警告! 周囲の環境に気をつけましょう。作業エリアに人が近づいて来たら、その人との間に安全な距離が確保できるまでスロットルコントロールを最低のスロットルに保ちます。人、動物、遊び場、開いた窓、車などにブロワーを向けないようにします。

安全に関する基本事項



- 周囲 15 メートルの作業エリアに、許可なく人や動物が入らないようにします。
- 燃料を充填する場合は、エンジンが冷えるまで待ちます。
- 体のあらゆる部分を、高温の表面から遠ざけるようにしてください。
- エンジンの稼働中は、スパークプラグやイグニッションケーブルに触れないでください。スパークプラグやプラグに触れると、感電する場合があります。
- 強力な風力で物体を高速で動かすため、物体が撥ねかえり、目に重傷を与える可能性があります。
- 空気流を人や動物に向けしないでください。
- アクセサリや部品を着脱する前に、電源をオフにし、バッテリーを取り外してください。
- 濃霧、豪雨、強風、厳寒など、気象条件の悪いときは、本機を使用しないでください。悪天候下での作業は、疲れやすく、また、足元が滑りやすくなるなど危険です。

作業技術

- 埃っぽいエリアを軽く湿らせたり、スプレー装置を使用したりすると、ブローの時間を短縮できます。
- 芝生やガーデン回りのラティス、スクリーン、グリル、ポーチなどに対しては、ホースで水をまくよりもブロワーを使用することにより、水の消費を低減できます。
- 身体の動きが自由に取れ、足場が良いことを確認してください。とっさに身をかわさなければならない場合に邪魔になる物(木の根、岩、枝、溝など)が周囲にあるかどうか確認してください。斜面での作業は特に注意してください。
- エンジンの排気ガスには、一酸化炭素中毒を引き起こす一酸化炭素が含まれています。このため、屋内あるいは通気の悪い場所でブロワーを起動または運転しないでください。
- ブロワーは、はしごまたは足場組みの上で使用してはいけません。
- 注意! 事故のときに助けを求めることができない状況で、本機を使用してはいけません。
- バランスを保ち、しっかりした足場を確保してください。
- 作業が終了したら、ブロワーは縦置きをし、保管してください。

基本的な作業方法



警告! 飛んでくる物に気をつけてください。常に視覚保護具を着用してください。石やごみなどが目に入って、失明や重傷となる可能性があります。許可のない人が一定の距離以上近寄らないようにしてください。子供、動物、見学者、補助者は、15メートル以上離れた安全圏にいるようにしてください。誰かが近づいたら、すぐに本機を停止してください。



警告! クリーニングの前に、必ずエンジンを停止してください。

風速はスロットルで調節されます。作業に適した処理速度を選択してください。

スロットル位置設定を使用することで、ブロワー使用中ずっとスロットルを指で押さえることなく、スロットル位置を固定できます。完全に制御解除した場合にフルスロットルになります。

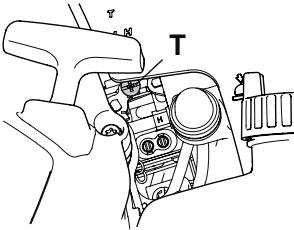
- 空気取り入れ口が葉やごみなどで塞がっていないか確認します。空気取り入れ口が詰まっていると、ブロワーの送風性能が下がり、エンジンの作動温度が上がります。これによりエンジン不良の原因となる場合があります。エンジンを停止して、異物を除去してください。
- 風の方向に気をつけてください。作業が楽になるように、風を利用してください。
- 他人の敷地内にごみなどが吹き飛ばされていないか常に確認します。
- ブロワーチューブを火気に向けないようにしてください。本機に火が付く、作業者が負傷したり周囲に損害を与えたりする可能性があります。
- ブロワーを使用し、たくさん集めたものを移動させると、時間がかかり、不必要な騒音を発生させることになります。

メンテナンス

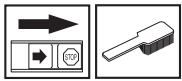
キャブレター

アイドリング速度の微調整

調整をする前に、必ずエアフィルターに汚れがなく、エアフィルターカバーが装着されていることを確認します。アイドリング速度の調整が必要な場合は、アイドリング調整 T ネジで行います。

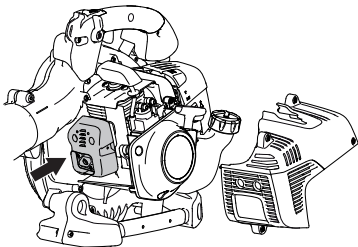


マフラー

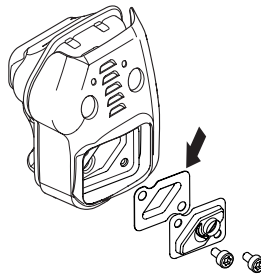


注意! マフラーには触媒コンバータを装備するものがあります。お使いの製品に触媒コンバータが装備されているかは、主要諸元の項で確認してください。

マフラーは騒音のレベルを最小限に抑え、排気ガスを使用者から遠ざける働きをします。排気ガスは高温である上に火花を含んでいることがあり、乾燥した可燃物に接触すると火災の原因となりがねません。



特殊なスパーク防止ネットを備えているマフラーもあります。お使いの製品にこのタイプのマフラーが装備されている場合は、少なくとも週に1回、ネットを清掃してください。ワイヤーブラシでこするのをもっとも効果的です。触媒コンバータが装備されていないマフラーの場合、ネットを週に1回掃除し、必要の場合は交換します。触媒コンバータ付きマフラーの場合、月に1回点検し、必要に応じて交換します。ネットに損傷があれば、交換します。ネットが頻繁に詰まる場合は、触媒コンバータの性能が落ちている可能性があります。マフラーの点検については、販売店に連絡してください。ネットが詰まると、本機はオーバーヒートを起こし、シリンダーやピストンの破損の原因となります。

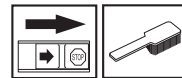


注意! マフラーに欠陥がある場合、本機は絶対に使用しないでください。

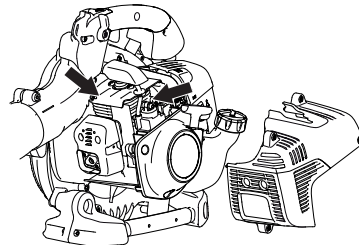


警告! 使用中の触媒コンバータ付きマフラーは非常に高温になり、使用後もしばらくの間、高温が続きます。アイドリングにおいても高温となります。触るとやけどすることがあります。火災の危険も忘れないでください。

冷却システム



運転時の温度をできるだけ低く保てるよう、本機には冷却システムが装備されています。



冷却システムをブラシで週に一度、過酷な使用環境ではより頻繁に清掃してください。冷却システムが汚れたり詰まったりしていると本機がオーバーヒートを起こし、ピストンやシリンダーの損傷の原因となります。

スパークプラグ



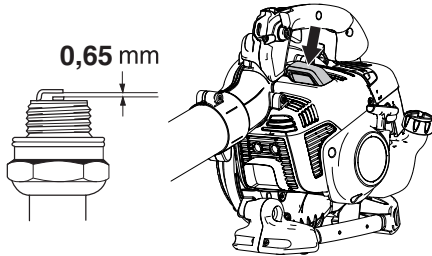
スパークプラグの状態は次の原因によって悪化します。

- 不適切なキャブレターの設定
- 誤った燃料調合
(オイル過多または不適切な種類のオイルの使用)
- エアフィルターの汚れ

上記の要因によりスパークプラグ電極にカーボンが付着し、運転中の不具合や始動困難などの原因となります。

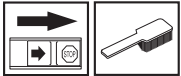
メンテナンス

エンジンのパワーが出ない、なかなか始動しない、アイドリングが安定しないなどの場合は、何よりもまずスパークプラグを点検してください。スパークプラグが詰まっていたら清掃し、電極ギャップが0.65 mmであることを確認します。スパークプラグは使用時間が延べ1ヵ月に達したら、また必要に応じてそれ以前に交換してください。



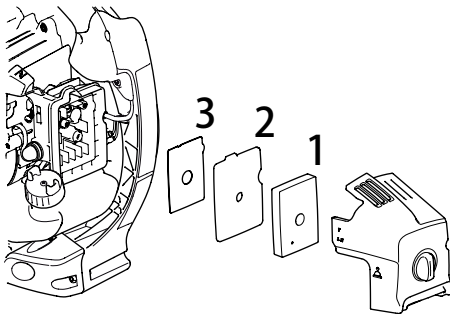
注意! 必ず指定のタイプのスパークプラグを使用してください! 不適切なスパークプラグを使用すると、ピストンやシリンダーが破損する原因となります。スパークプラグがサプレッサーに正しく装着されていることを確認します。

エアフィルター



下記のような問題の発生を防止するため、エアフィルターを定期的に清掃し、ホコリや汚れがたまらないようにしてください。

- キャブレターの不具合
- 始動不良
- エンジンのパワー不足
- エンジン部品の過度の摩耗
- 燃料の異常消費

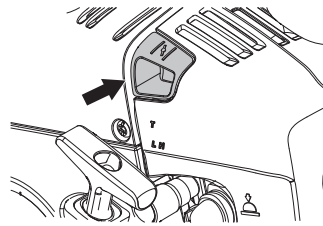


- 1 発泡プラスチックフィルター (ウレタンフィルター)
- 2 フェルトフィルター
- 3 スクリーン

フィルターは25時間毎、または特に粉塵のひどい条件下ではより頻繁にクリーニングしてください。

エアフィルターのクリーニング

チョークをチョークポジションにセットすることで、チョークコントロールを閉じます。

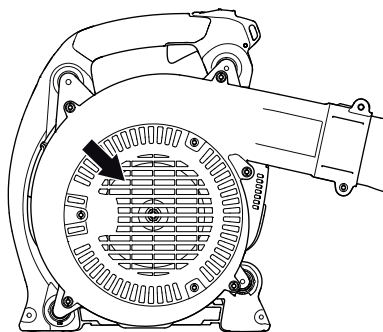


- エアフィルターカバーを外し、フィルターを取り出します。ぬるめの石鹸水でフィルターをよく洗います。エアまたはブラシを使用して、フィルターカバーの内部も清掃します。フィルターを元に戻す前に、フィルターがよく乾いていることを確認してください。
- フィルターホルダーからフェルトフィルターを外し、ブラシでフィルターのごみをはらいます。
- エアフィルターホルダーにスクリーンおよびフェルトフィルターを装着します。
- エアフィルターカバーに気泡フィルターを装着します。
- エアフィルターカバーを取り付けます。

長期間使用したエアフィルターはどんなに洗っても完全にきれいにはなりません。定期的に新品のフィルターと交換してください。**破損したエアフィルターは必ず交換してください。**エアフィルターが破損していたり、汚れがひどかったりする場合、または燃料にまみれた場合には、必ず交換してください。

エアインテークスクリーン

空気取り入れ口が葉やごみなどで塞がっていないか確認します。空気取り入れ口が詰まっていると、ブローの送風性能が下がり、エンジンの作動温度が上がり、これによりエンジン不良の原因となる場合があります。エンジンを停止して、異物を除去してください。



警告! スクリーンが装着されていない場合は、ブローを決して使用しないでください。本機を使用する前には、スクリーンが装着されており、破損していないことを確認してください。

燃料フィルター

燃料フィルターに汚れがないか、燃料ホースに亀裂などの異常がないかを点検します。必要に応じ交換します。

メンテナンス

メンテナンススケジュール

本機で実施すべきメンテナンス手順のリストは以下の通りです。ほとんどの項目は、メンテナンスのセクションで説明されています。使用者は本取扱説明書に記載されているメンテナンスとサービスだけを実施してください。本書に記載されている内容以外のメンテナンスは、必ずお近くのサービス代理店（販売店）に依頼してください。

メンテナンス	毎日行うメンテナ ンス	毎週行うメンテ ナンス	毎月行うメンテ ナンス
本機の外側を清掃します。	●		
安全の観点から、スロットトリガーロックとスロットルが正しく機能することを確認します。	●		
停止スイッチが正常に機能するか確認します。	●		
エアフィルターを清掃します。必要に応じ交換します。	●		
ナットおよびネジが確実に締められているかどうかを確認します。	●		
エンジン、タンク、燃料系から漏れないか確認します。	●		
燃料フィルターに汚れがないか、燃料ホースに亀裂などの異常がないかを点検します。必要に応じ交換します。	●		
エアインテークスクリーンの側面に塞がれているところがないか点検します。	●		
スターターおよびスターターロープを点検します。		●	
防振装置に損傷がないか点検します。		●	
スパークプラグの外側を清掃します。スパークプラグを取り外し、電極ギャップを確認します。ギャップを 0.65 mm に調節するか、スパークプラグを交換します。スパークプラグがサブレッサーに正しく装着されていることを確認します。		●	
本機の冷却システムを洗浄します。		●	
マフラーのスパーク防止ネットを清掃または交換します（触媒コンバータなしのマフラーのみ）。		●	
キャブレターの外側とその周りを掃除します。		●	
燃料フィルターに汚れがないか、燃料ホースに亀裂などの異常がないかを点検します。必要に応じ交換します。			●
すべてのコードと接続部を点検します。			●
スパークプラグを交換します。スパークプラグがサブレッサーに正しく装着されていることを確認します。			●
マフラーのスパーク防止ネットを点検、掃除します（触媒コンバータ付きマフラーのみ）。			●

主要諸元

主要諸元

主要諸元

HBZ260LV

エンジン

使用回転数、r/min

3000～7300

触媒コンバータマフラー

有り

スパークプラグ

NGK BPMR8Y

電極ギャップ、mm

0.6～0.7

燃料および潤滑システム

燃料タンク容量、リットル

0.45

質量

重量(燃料なし)、kg

4.3

ファン性能

丸型ノズルを使用した場合の最高風速、m/s:

70

円形ノズルの最高空気流、m³/min

13



修理・お取り扱い・お手入れなどのご相談は
まず、お買い上げの販売店へお申し出ください。

製品・技術・その他のお問い合わせ

ハスクバーナ・ゼノア株式会社 国内営業本部



0570-084987

月～金/9:00～17:00(土日祝、弊社指定休業日は除く)

<http://www.zenoah.co.jp/>

ハスクバーナ・ゼノア株式会社

本社: 〒350-1165 埼玉県川越市南台1-9

(平成29年6月現在)

115888679 (E0/A1706) PRINTED IN JAPAN